

令和元年度PTA総会校長あいさつ（5月18日）

4月から校長として勤務している竹田です。

本日は、ご多忙中PTA総会にご参加いただき、ありがとうございます。また、平素より本校教育活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、私は、県立高校で地理歴史科・公民科の教員として勤務し、途中から県教委に異動し、昨年度まで勤務しておりました。

校長になっての今の思いは、自主自律をはじめ、本校の伝統をしっかり継承するとともに、AI等によって大きく変化する新しい時代をリードする学校として更に発展させたい、何よりも入学した生徒一人一人の能力・個性を最大限に伸ばして卒業させたいというものです。

そのためのポイントを、総会資料に掲載している本年度学校経営計画書（本校ホームページにも掲載）にまとめています。

具体的な現状と取組みについては、この後、教務課長、生徒課長、進路指導課長から説明させていただきますので、ここでは、本年度の新規の取組みである、高校魅力化推進事業（リーディングモデル校）の実施と教育環境の整備について説明します。

まず、リーディングモデル校は、県教育委員会の3年間の研究指定であり、研究目的は、「時代をリードする教育内容等を研究し、新学科等の設置を目指す」ものです。普通科拠点校として本校が、専門科拠点校として岡山工業高校が指定されており、本校の研究テーマは、「探究的な学びによる、新たな社会を牽引し世界の未来を拓くリーダーの育成」です。

本校では、大学入試改革や新学習指導要領の実施への対応と連動させる観点や本質的な学力育成の観点から、この研究指定を絶好の機会ととらえ、リーディングモデルプロジェクト研究委員会を設置し、取り組んでいます。

研究の一環として、全国の先進校の取組みを見る中で、本校がこれまで大切にしてきた、基礎基本を大切にしつつ本物に触れ本質を探究する取組の先見性についても再認識しています。例えば、本校では様々な教科の指導において、きっちりと読解して表現すること、記述することを大

変重視してきました。通常の場合、同じ文章をしゃべれるけれど読めないということはありません。同じ人物の読解力を、聞く力・話す力が上回ことはないのです。最も重要なのは読解力です。本校では、そのための授業や添削指導が熱心に行われてきました。また、進路指導、学校行事、部活動等一人一人に挑戦の場を拡大し、切磋琢磨で高めあう機会を大切にしてきました。

このような本校の強みを大切にしつつ、学習の内容・方法、教育課程、学校行事等、更なる改善の為の研究を進めるとともに、状況に応じてその都度改善することで研究内容の先行実施を行い、この研究が在校生にしっかり反映するようにしたいと考えています。

次に教育環境の整備についてですが、旧教育センターの研修棟等と本校プールを併せて解体撤去し、本校グラウンドとして整備することとなりました。夏以降に工事を開始し、本年度中に完成する予定です。

今後とも、本校教育活動への一層のご理解とご協力を賜りますようお願いしてごあいさついたします。

(県立岡山朝日高等学校 校長 竹田義宣)